

短期集中日本語・日本文化学習コース（冬季）実施報告

2016年2月10日（水）～2月25日（木）

日本語教育センター通信

第25号



〈みんなでユニバーサル・スタジオ・ジャパンへ行きました〉

日本語と日本文化を学ぶ約3週間の短期プログラムは、2011年より実施しています。



合気道体験

協定校から62名の留学生が来日し、日本語と日本文化を学びました。英語による日本文化の講義の後、京都フィールドトリップへ行きました。友禅染体験や金閣寺・清水寺を拝観し、京都で日本文化を実際に体験しました。また、能楽部、弓道部、相撲部の皆さんと書道、華道の先生にもご協力いただき、学内でも日本文化が体験でき、学生たちは大喜びでした。

最終日にはスピーチ発表会を実施。学生たちは、3週間という限られた時間の中で、一生懸命日本語を学び、日本語パートナーやホストファミリーとの会話の中で積極的に日本語を使っていました。



交換学生紹介



イ センボさん
（韓国、建国大学からの交換留学生）

韓国では、工学部で航空機の設計を勉強しています。今、週2回三田キャンパスに行っており、理工学部の「力学Ⅱ」「線形代数」「ネットワーク」「デジタル通信」の授業を履修しています。内容は韓国で勉強している分野なので、問題ありませんが、英語がカタカナ表記になっているのが、とても難しいです。特にそのことを自分で書く時には、促音や長音の有無や位置がわからなくて大変です。

三田キャンパスで一般授業を履修している交換留学生は、今学期は私人だけですが、まだ、知り合いもいないので、それがさびしいです。月曜日と木曜日に三田キャンパスに行っていますから、私を見かけたら、ぜひ声をかけてください。



〈フィールドトリップの京都清水寺（右：佐分利さん）〉

以前より日本語パートナーとしては活動していましたが、短期プログラムののは初めてでした。私は初級クラスを担当したので、初めは留学生との会話が多くありませんでした。しかし、授業内外で日本語を使ってコミュニケーションをとっていると、日を重ねるにつれ、彼らの日本語力はどんどん上達しました。担当した留学生の1人が、最終スピーチ発表のクラスは、なおさらその上達度合いに驚かされました。自分自身も刺激を受けた忘れられない3週間となりました。

日本語パートナーの感想

佐分利 啓和さん（文学部）

ラーニング・アシスタント活動報告

日本語学習コース（ビジネス日本語B）

ラーニング・アシスタント（LA）

青木 萌夏さん（国際学部）

私は、日本での就職を目指す留学生のための「ビジネス日本語B」という授業でLAをしています。業務内容は、就職活動対策のグループディスカッションや発表に、グループの一員として参加するというものです。私にとってこの授業は、学びの場であり、向上心を高められる場です。自身の就職活動にも役立つ知識が得られます。また、母国を離れて本学に進学し、就職を目指す留学生の皆さんの語学力や知識量、そして覚悟にも感心させられ、自分も負けてはいられないと思います。

先生は「日本人のLAと留学生が、就職活動の際に頑張る仲間になってほしい」と言ってくれます。回を重ねるごとに議論も白熱し、授業外でも就職活動などについて話すことが増えているので、切磋琢磨し、より良い授業づくりに貢献できればと思います。



〈右：青木さん〉



藤原 由紀子先生

4月に着任しました藤原由紀子です。これまで、札幌やクアラルンプール、カイロなど、寒い所から暑い所、湿った所から乾燥した所で、国内外の様々な町で日本語を教えてきました。先日、改めて数えてみると、日本語教育に本格的に携わるようになってから、既に11回も引越してしまいました。関西に住むのは、学部生のとき以来で、大好きな関西に戻ってこられたことを、とても嬉しく思っています。

日本語教育の現場は、気づきや驚きに溢れています。使える言葉や表現が限られているにもかかわらず、しっかりとこちらの心に響いてくる、素朴だけれど温かい学習者の日本語に触れ、日々の自分の言葉遣いや誰かに何かを伝えようとする姿勢を反省させられることもあります。日本語教育センターでの新たな気づきを楽しみにしています。みなさま、どうぞよろしくお願いたします。

新任教員紹介

にしのみや留学生日本語スピーチ大会

△左から 韓さん、リリアンさん



発表者	スピーチのタイトル
ベノア モルガン ノラ (リヨン第2大学)	「歌中毒」
リ ルシア (マニトバ大学)	「どうして英語の先生になりたい？」
韓 遠会 (総合政策学部1年生)	「ありがと 日本」
李 融 (社会学部1年生)	「出会い」
ツァオ シューミン (トロント大学)	「紙の本に戻りましょう」
ツァイ リリアン (ウエスタン (オンタリオ) / キングス大学)	「心でコミュニケーション」

2月6日に、西宮市国際交流協会主催「にしのみや留学生日本語スピーチ大会」が行われました。本学からは、交換学生4名、学部留学生2名が参加し、韓遠会さん(総合政策学部の現2年生)の「ありがと 日本」が優秀賞、ツァイリリアン ジュイーイさん(カナダ、ウエスタン・オンタリオ大学キングス校からの交換学生)の「心でコミュニケーション」が努力賞を受賞しました。本学からの参加者は全員、授業外でスピーチ原稿を書き、日本語教員と一緒にスピーチの練習をした上で、スピーチ大会に臨みました。友人や親族、ホストファミリー、CIEC職員、日本語教員も応援にかけつけました。みんな、とても堂々とした素晴らしいスピーチでした。スピーチ大会終了後の、達成感に満ち溢れたみんなの表情。受賞した2名だけでなく、参加した学生たちにとって、とても良い経験となったことでしょう。

2005年秋〜2006年春の交換学生、ウェニーさん(インドネシア、サテイヤ・ワチャナ・キリスト教大学)と、2006年春〜2006年秋の交換学生、ゲオルグさん(ドイツ、アウグスブルク大学)が、約10年ぶりに関西まで遊びに来てくれました。二人は関学で出会い、その後結婚!今はドイツで暮らしています。今はG号館の2階にグローバルラウンジがあります。10年前は時計台の1階でした。事務室も学生サービスセンター1階にありました。そのため、久しぶりに来た関学ですが、知っている教職員に会えず、がっかりして帰ろうとしていたそうです。関学グッズだけでも買おうと立ち寄った生協で、当時日本語授業を担当していた阿部美恵子先生にバツタリ!お互いが生協に立ち寄る時間がちよつとでもずれていたら、奇跡のような再会でした。その後、G号館に移動し、阿部秀夫先生やCIECの職員とも会うことができました。

**昔関学で学んだ
交換学生が10年ぶりに
会いに来てくれました!**



△左から 阿部美恵子先生、ウェニーさん、ゲオルグさん、阿部秀夫先生

留学生WEEK開催!

2016年6月6日~10日【NUC】

留学生と一般学生の交流を深める1週間。
期間中は様々なイベントを企画しています!

6月8日(水) 13:30~15:00

場所: G号館 フジタ・グローバルラウンジ

「Cool Japan トークショー in Japanese」

交換留学生が日本で見つけたCoolなものを日本語で紹介します!

6月10日(金) 9:00~12:40

場所: 中央講堂

「日本語スピーチ発表会」

初級から超上級の学生が日本についてスピーチをします!

**6月6日(月)~10日(金)
交換留学生 成果物展示
@大学図書館入口ホール
交換留学生が授業で作成した
成果物や興味を持ったテーマ
について書いた作文などを
展示します!**

★日本文化体験: 留学生と共に体験しよう!

6月6日(月) 3時限 : 折り紙体験(七夕の装飾作り)
6月7日(火) 3・4時限 : 縁日(夏祭り)
6月9日(木) 4時限 : 映画鑑賞会
6月10日(金) 3時限 : 書道(団扇作り)
6月10日(金) 4時限 : 映画鑑賞会
6月10日(金) 17:15~ : コーヒーアワー

★各国ランチフェア: 留学生の母国の食文化を体験してみよう!

BIG PAPA(生協後援)

発行人: 関西学院大学 日本語教育センター
発行日: 2016年6月1日

